

# 台風・豪雨のとき、あなたのとるべき行動は？

## "避難行動判定フロー"で

# 避難行動を事前にチェック！

台風・豪雨時に備えて、災害の危機が迫った際に正しい避難行動がとれるよう、ハザードマップと一緒に「避難行動判定フロー」を確認し、個々の状況に応じた適切な避難行動を平時から考えておきましょう。



スタート

ハザードマップで自分の家の場所を確認してみましょう。色が塗られていますか？

いいえ

色が塗られていなくても、周りと比べて低い土地や崖のそばなどにお住まいの方は、市からの避難情報を参考に、必要に応じて避難してください。

はい

**災害の危険あり！**  
原則※、自宅ではなく安全な場所に避難が必要です。

例外

※土砂災害の危険があっても、十分堅牢なマンションなどの上層階に住んでいる場合は、**自宅で安全を確保することも可能**です。  
※浸水の危険があっても、次の場合は、**自宅で安全を確保することも可能**です。  
①洪水により家屋が倒壊・崩落する恐れの高い区域の外側にいる  
②浸水する深さよりも高いところにいる状態で、水や食料などの備えが十分にある

はい

ご自身または一緒に避難する人は避難に時間がかかりますか？

はい

いいえ

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？

はい

いいえ

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？

はい

いいえ

**警戒レベル3**が出たら、安全な親戚や知人宅などに避難しましょう。(日頃から相談しておきましょう。)

**警戒レベル3**が出たら、市の指定緊急避難場所などに避難しましょう。

**警戒レベル4**が出たら、安全な親戚や知人宅などに避難しましょう。(日頃から相談しておきましょう。)

**警戒レベル4**が出たら、市の指定緊急避難場所などに避難しましょう。

### 警戒レベル3…高齢者等避難

(避難に時間を要する人とその支援者は避難を開始。ほかの人は、避難の準備)

### 警戒レベル4…避難指示

(全員が速やかに避難。移動が危険と思われる場合は、安全確保行動)

避難とは「難」を「避」けることで、市民一人ひとりが、自らの命を守るために、安全な場所に移動したり、留まったりすることによって「難」を避けることです。

自宅で安全が確保できる場合は、必ずしも避難所など、公的な避難所に避難する必要はありません。

また、災害の危険性のない場所などの親戚、知人宅に避難する「分散避難」も避難行動の一つです。



**警戒レベル3・4**が出ていなくても、**危険を感じたら避難を！**

